

- 問1 九州地方の5県（佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島）における2014年の耕地面積の統計によると、佐賀県や熊本県では田の面積が畑の面積を上回っていますが、鹿児島県では全耕地面積に占める畑地の割合が突出して高くなっています。鹿児島県においてこのように畑作が盛んである主な理由として、土地の性質について説明したものを選びなさい。（2016年 岡山公立入試 類似）
- 火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。
  - 筑紫平野のような平坦な低地が広がっており、排水作業を行って広大な畑地を確保しやすかったため。
  - 山間部を切り開いた棚田が多く作られたが、近年の機械化に伴いその多くが果樹園へと転換されたため。
  - 有明海沿岸の干拓によって得られた土地が、塩分の影響で稲作よりも畑作に適していたため。
- 問2 宮崎県では、農業産出額の約3分の2を畜産が占めています。このように宮崎県で肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んになった背景として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものを選びなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）
- シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。
  - 平野部が少なく耕地面積が限られているため、狭い土地でも効率よく収益が上がる畜産業に特化した。
  - 大消費地である東京から遠いため、野菜よりも保存や加工がしやすい畜産物の生産に力を入れた。
  - 冬でも温暖な気候を利用して、家畜の飼料となる穀物を二毛作で大量に生産できる環境があったため。
- 問3 佐賀県は、九州地方の中でも小麦の収穫量が非常に多いことで知られています。この背景として、夏の米の収穫が終わった後の水田を有効に利用して小麦を栽培する農法を何と呼びますか。（2019年 徳島公立入試 類似）
- 水田裏作
  - 施設園芸農業
  - 促成栽培
  - 高冷地農業
- 問4 九州地方の各県の産業について述べた次の説明のうち、宮崎県と福岡県の特徴を正しく組み合わせたものはどれですか。（2023年 三重公立入試 類似）
- 宮崎県は農業産出額において畜産の占める割合が非常に高く、福岡県は九州地方で最大の工業出荷額を誇っている。
  - 宮崎県は平野部を中心に稲作が盛んで米の産出額が九州で最も多く、福岡県は畜産が県内の農業の大部分を占めている。
  - 宮崎県は工業出荷額が九州地方の中で最大規模であり、福岡県は農業産出額において米の産出額が畜産を上回っている。
  - 宮崎県と福岡県はともに農業産出額のうち米の割合が最も高く、工業については佐賀県の出荷額が九州で最大である。
- 問5 日本の諸地域の気候を比較したとき、那覇市の平均気温や降水量の特色について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2024年 栃木公立入試 類似）
- 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。
  - 年間の平均気温は福岡市などの九州地方の都市よりも低くなるが、梅雨や台風の影響で年間の降水量は非常に多い。
  - 亜熱帯に近い気候のため、年間の降水量は日本で最も少ない部類に入る高松市よりも、すべての月において下回ることはいない。
  - 夏と冬の気温差が非常に大きく、札幌市などの北日本の都市と同様に、冬の降水量が1年の中で最も多くなる。
- 問6 屋久島などの世界自然遺産登録地で見られる、地域の自然環境や生態系の保全を図りながら、その価値を観光客が体験し学ぶことで、地域の持続可能な発展を目指す観光の形態を何といいますか。（2025年 和歌山公立入試 類似）
- エコツーリズム
  - グリーンツーリズム
  - マストツーリズム
  - バリアフリー観光
- 問7 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）
- 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。
  - 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。
  - 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。
  - 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。
- 問8 九州地方南部の鹿児島県を中心に広がる、過去の火山活動による噴出物が厚く降り積もって形成された台地を何と呼びますか。（2015年 兵庫公立入試 類似）
- シラス台地
  - カルデラ
  - フォッサマグナ
  - 泥炭地
- 問9 鹿児島県では、海外から輸入される安価な豚肉に対抗するため、どのような農業戦略を強化してきましたか。その背景と内容の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。（2017年 滋賀公立入試 類似）
- 経営規模を拡大するとともに、「かごしま黒豚」などのブランド化を行い、品質の高さで差別化を図る戦略。
  - 飼育戸数を大幅に増やすことで国内市場を独占し、輸入豚肉と同等の低価格を実現する戦略。
  - 豚肉の生産を縮小し、より単価の高い肉用牛の飼育へ全面的に転換することで収益を確保する戦略。
  - 飼育にかかるコストを削減するため、品種改良を中止し、安価な外国産品種の導入を進める戦略。
- 問10 日本の都道府県別の茶の生産量割合を示した統計資料において、一位の静岡県（約40%）に次いで、国内第二位となる28.6%の割合を占めている九州地方の県はどこですか。（2017年 岐阜公立入試 類似）
- 鹿児島県
  - 宮崎県
  - 福岡県
  - 三重県
- 問11 1901年に操業を開始した官営八幡製鉄所は、日清戦争の賠償金をもとに建設されました。この製鉄所が置かれ、のちに鉄鋼業を中心とした北九州工業地帯として発展した都道府県はどこですか。（2022年 滋賀公立入試 類似）
- 福岡県
  - 兵庫県
  - 岡山県
  - 広島県
- 問12 沖縄県の離島などで、農業用水を確保するために「地下ダム」という独自の施設が整備されている理由について、地形や地質の観点から説明したものととして最も適切な記述はどれですか。（2017年 沖縄公立入試 類似）
- 地表を通しやすい琉球石灰岩の層が広がっており、降った雨がすぐに地中にしみ込んでしまうため。
  - 年間降水量が極端に少なく、雨水を確保するために大規模な河川を建設する必要があるため。
  - 標高の高い山地が多く、地表にダムを建設すると土砂崩れの危険性が非常に高まるため。
  - 土壌が稲作に非常に適しているが、地表の気温が高すぎて水がすぐに蒸発し、水田が干上がってしまうため。
- 問13 日本の国土を大きく分ける七大方区分において、宮崎県は福岡県や鹿児島県などとともに、ある一つの広域的なまとまりの中に分類されています。この宮崎県が属する地方区分名を答えなさい。（2025年 愛知公立入試 類似）
- 九州地方
  - 中国・四国地方
  - 近畿地方
  - 中部地方

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。	鹿児島県から宮崎県にかけての九州南部には、過去の火山活動による噴出物が厚く堆積した「シラス台地」が広がっています。この土地は水はけが良すぎて水持ちが悪いため、大規模な水田を作ることが困難でした。そのため、古くから稲作ではなくサツマイモや茶などの畑作、あるいは広大な土地を利用した畜産が発展してきました。これに対し、佐賀県などの平野部では水田率が高い傾向にあります。
問2	答え 1 シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。	宮崎県を含む南九州には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。シラス台地は水はけが良すぎて稲作には不向きであったため、古くから畑作や、広大な土地を必要とする畜産業が発展しました。現在では、宮崎県は肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）のいずれも全国有数の産出額を誇る「畜産王国」となっています。
問3	答え 1 水田裏作	佐賀平野を中心とする地域では、温暖な気候と水利を活かして、一年の間に同じ耕地で二種類の異なる作物を栽培する二毛作が行われています。米の収穫後、冬から春の間に小麦などを栽培することを「水田裏作」と呼び、これが佐賀県において高い小麦の収穫量を支える要因となっています。
問4	答え 1 宮崎県は農業産出額において畜産の占める割合が非常に高く、福岡県は九州地方で最大の工業出荷額を誇っている。	九州地方南部では、シラス台地などの地形的条件を活かした畑作や畜産が発展しており、特に宮崎県は肉用牛、豚、鶏などの畜産業が農業産出額の多くを占めているのが特徴です。一方、九州地方北部の福岡県は、北九州工業地帯やその周辺の自動車産業などの集積により、九州で最も大きな工業出荷額を記録しています。佐賀県は九州の中では比較的、農業産出額に占める米の割合が高いという特徴がありますが、工業出荷額が最大なのは福岡県です。
問5	答え 1 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。	那覇市は低緯度に位置し、周囲を海に囲まれた海洋性の気候であるため、年間を通じて平均気温が高く、夏と冬の気温差（年較差）が小さいのが特徴です。これに対し、内陸にある松本市などは放射冷却などの影響で冬の冷え込みが厳しく、気温の年較差が大きくなります。また、那覇市は梅雨や台風の影響で降水量は多い傾向にありますが、時期や年によっては他の都市よりも少なくなることもあり、常に他の都市を上回るわけではありません。
問6	答え 1 エコツーリズム	自然環境を壊して観光開発を進めるのではなく、地域の生態系を保護しながら、その魅力を観光資源として活用する仕組みを指します。観光客に自然の大切さを学んでもらうことで、環境保護と地域振興の両立を図るのが特徴です。
問7	答え 1 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。	低地や谷状の地形は、河川からの取水や周囲からの湧水が得やすく、水利条件が良いのが特徴です。そのため、地図記号においても「水田」を示す記号が描かれることが一般的です。一方で、森林や工業団地などは、排水条件や地盤の安定性、広大な用地確保の観点から別の場所が選ばれる傾向にあります。
問8	答え 1 シラス台地	鹿児島県から宮崎県にかけて広がるこの地形は、桜島などの火山から噴出した火山灰や軽石などが大量に堆積してできたものです。粒子が細かく、水はけが非常に良いという地質的な特徴を持っています。そのため、大規模な稲作を行うには水持ちが悪いという土地条件がありますが、その特性を活かした農業が発展してきました。
問9	答え 1 経営規模を拡大するとともに、「かごしま黒豚」などのブランド化を行い、品質の高さで差別化を図る戦略。	日本の畜産業は、貿易の自由化によって流入する安価な輸入肉との厳しい競争にさらされてきました。鹿児島県ではこれに対抗するため、1戸あたりの経営規模を拡大して生産効率を高めるだけでなく、独自の品種改良を重ねた「かごしま黒豚」などのブランド化を推進しました。単なる価格競争ではなく、付加価値の高い高品質な肉を生産することで、独自の市場的地位を築いています。
問10	答え 1 鹿児島県	2015年の統計において、鹿児島県は全国の茶生産量の約28.6%を占める一大産地となっています。九州地方は茶の栽培が盛んですが、その中でも鹿児島県は広大な平坦地（シラス台地など）を活用した大規模な機械化栽培が行われており、静岡県に次ぐ全国第2位の生産量を維持しています。
問11	答え 1 福岡県	日清戦争で得た賠償金をもとに、筑豊炭田の石炭と中国大陸から輸入する鉄鉱石の利用に便利な福岡県北部に官営八幡製鉄所が建設されました。これが日本の重工業化をけん引し、北九州工業地帯へと発展しました。
問12	答え 1 地表に水を通しやすい琉球石灰岩の層が広がっており、降った雨がすぐに地中にしみ込んでしまうため。	沖縄県の多くの地域や離島では、サンゴ礁が堆積してできた「琉球石灰岩」が地表を覆っています。この岩層は透水性が非常に高く、梅雨や台風で大量の雨が降っても地表に水が残りにくい（川が形成されにくい）という特徴があります。一方で、その下には水を通しにくい「泥岩」の層があるため、人工的な「止水壁」を作って地下水として貯める手法が、農業用水を確保する最も効率的な手段となりました。
問13	答え 1 九州地方	日本の七大方区分（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州）において、宮崎県は九州地方に分類されます。九州地方は九州本島の7県（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島）と沖縄県から構成されています。地理的な位置や行政・経済的な結びつきに基づき、このように区分されています。